

# 都が「防災力向上」モデル地区に選定

## 取り組みに向け「柴又地区連絡会」発足

柴又北野町会会館(葛  
飾区柴又)で今月8日、  
防災を主な議題とした  
第一回「柴又地区連絡  
会」が開かれた。

今年度、堀切地区と  
ともに葛飾区の「地域  
防災会議」の対象モデ  
ル地区となった柴又地  
区。都も今年度、地域  
防災力向上モデル地区  
のひとつに柴又地区を  
選び、その担い手とし  
て柴又北野町会(高木  
一夫会長)を選定した  
ことから、この日、同  
町会会館を中心に連絡  
会が発足、第一回会合  
を開いた。都の同モデ  
ル地区選定は今年度が  
初めてで、計4地区が  
選定された。

北野町会の現在の会  
員数は2216世帯。  
柴又1〜3丁目の住民

が会員の多数を占める  
が、町会のエリアは柴  
又4丁目や金町1丁目  
にも広がっている。  
連絡会には北野町会  
会員のほか、同町会工  
元の北野小学校の校長  
やPTA会長、警察、

リア内にあるマンショ  
ン「ガーデンフラサ柴  
又自治会」(327世  
帯)の下田一夫会長、地  
元の北野小学校の校長  
やPTA会長、警察、



参加者25人が地元の防災について考えた柴又地区連絡会

消防、都や区の職員、  
都市防災の専門家など  
が出席。連絡会会長に  
高木町会長、副会長に  
は利谷十四男同区防災  
課長を選出した後、地  
区の防災の課題や住民  
の防災意識向上に向け  
た取り組み案などを話  
し合った。

連絡会の地域への周  
知については、インタ  
ーネットの活用、益藤  
りでのブース出店、ス  
タンフラー開催とい  
った案が挙がり、防災  
マップや防災カレンダー  
の製作、避難所の開  
股と訓練の実施、防災  
上の課題の整理など、  
活動内容についてもさ  
まざまな案が出た。

会合は約2時間半に  
及んだが、最後は高木  
会長が「これを機に関  
係者で力を合わせ、地  
域防災力」の向上を図  
りたい」とあいさつ。  
7月中旬に次回連絡会

を開き、各事業項目の  
洗い出しと絞り込みを  
するとともに、1年間  
を進める予定だ。  
ることを急頭に置いた  
スケジュール化などを  
進める予定だ。